

平成26年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)

実施報告書

HT26202

【プログラム名】「加齢」によるカラダの変化と東洋医学（はり治療）を体験しよう！



開催日：平成26年8月23日(土)

実施機関：明治国際医療大学
(実施場所) (附属統合医療センター「ホテル京都エミナース内」)

実施代表者：福田晋平
(所属・職名) (保健・老年鍼灸学講座 博士 研究員)

受講生：中学生4名
高校生2名

関連 URL：<http://www.meiji-u.ac.jp/blog/other/23726>

【実施内容】

〈受講生に分かりやすく研究成果をつたえるために、また受講生に自ら活発な活動をさせるためにプログラムを留意、工夫した点〉

- ・鍼灸治療の体験では、実際の患者に受講生がインタビューを行う時間をとった。このことによって、受講生は真剣に相手の苦しみに対して共感し、積極的にプログラムに参加した。
- ・受講生6名に対しTA 4名と協力者3名を配置し、細やかな指導を可能とし受講生のより深い理解を促した。
- ・講義内容や体験実習についての内容を冊子にまとめ、帰宅してから復習できるようにした。
- ・研究成果は動画や画像を用いて、短時間で簡潔にまとめ理解しやすいように伝えた。
- ・体験実習を多く取り入れ、学生が主体的に活動できるように工夫した。

〈当日のスケジュール〉

- 10:30～11:00 受付(ホテル京都エミナースロビー)
- 11:00～11:15 開講式(挨拶、科研費の説明、自己紹介)
- 11:15～12:00 講義(はりきゅう治療について)、体験実習(刺鍼台に実際の鍼を刺してみよう)
- 12:00～12:40 昼食(講師・大学院生と一緒に昼食)
- 12:40～14:00 体験実習(弱視体験、車いす体験、耳鳴体験、片マヒ体験、高齢者擬似体験)
- 14:10～15:10 実際のはりきゅう治療を観察しよう
- 15:20～15:35 クッキータイム
- 15:35～16:00 修了式(アンケート記入、未来博士号の授与、閉会のあいさつ)

〈実施の様子〉

開講式では博士研究員の福田から科研費の説明および研究内容の紹介があり、続いて一日のスケジュールと諸注意について説明を受けた。開講式後、江川先生から鍼灸治療について講義を行った。



【実施内容】

昼食交流会では参加者と大学教員とが共にお弁当を食べ、受講生の学校生活や夏休みの生活などの話題で盛り上がった。昼食後、体験実習を行った。体験実習は弱視体験(白内障・緑内障・全盲を含む)、片マヒ体験、変形性膝関節症体験、耳鳴体験を行った。



高齢者体験実習を終了した後、鍼灸治療の体験実習を行いました。ここでは、受講生が実際の患者に主訴や現病歴についてインタビューし、その後、鍼灸治療の風景を見学しました。なお、患者からの同意が得られず写真は撮影できませんでした。

クッキータイムで、受講生とスタッフが本日のプログラムの感想等について話し合い、アンケートの記入も行いました。その後、閉会式を行い、未来博士号(未来鍼灸医学博士号)を授与し、プログラムが終了しました。



【実施内容】**〈事務局との協力体制〉**

会議を定期的に行き、大学事務局とプログラムの進捗状況について報告した。また、研究支援課が日本学術振興会との連絡調整、提出書類の確認・修正等を行った。経理課が委託費の管理と支出報告書の確認を行った。これらの協力により、プログラムを最後まで遂行することができた。

〈広報活動〉

本プログラムの告知チラシを新聞チラシとして配布した(15,000部)。また、告知チラシを本学附属施設(附属鍼灸センター、附属病院、附属統合医療センター)や近隣図書館、商業施設に掲示した。大学のホームページ内にも告知ページを作成し、広く告知した。

〈安全配慮〉

- ・体験実習に入る前に機器の使い方について十分な説明を行った。
- ・参加者は保険に加入した。
- ・休憩をこまめに取り、飲食物を用意した。また、併設するクリニックに医師や看護師を配置し万事に備えた。

〈今後の発展性、課題〉

今後は科研費研究による成果を生み出した携帯型歩行計を用いて、受講生自身の歩行機能を評価し、患者との歩行機能の違いを客観的に気づかせ、体験実習を発展させたい。今回のプログラムは夏休み期間に行ったが、告知開始時期が遅れてしまい、中学校や高校の学期中に直接告知することができず、予定人数に達しなかった。このため、次回以降は学期中に告知し、新聞広告や市民広報誌への掲載を含めた告知方法を行い、参加者を募集したい。

【実施分担者】 5名

今西二郎	統合医療センター長・教授
石崎直人	鍼灸学部・教授
江川雅人	鍼灸学部・教授
水沼国男	鍼灸学部・講師
鶴浩幸	鍼灸学部・講師

【実施協力者】 4名**【事務担当者】** 1名

吉田昌平	大学事務局 研究支援課
------	-------------